



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

若手ワーキンググループの活動状況

はじめに

コロイドおよび界面化学部会若手ワーキンググループ（以下 WG）では、本年度で5回目となる若手研究者や学生を対象としたセミナー「未来のコロイドおよび界面化学を創る若手討論会」を開催しました。また WG の発案により開始された、コロイドおよび界面化学討論会における「若手口頭講演賞」の表彰も本年度で3回目となりました。ここでは、これらについてご紹介させていただきます。

若手討論会

「未来のコロイドおよび界面化学を創る若手討論会」は、コロイド・界面化学分野の将来を担う若手研究者の育成・活性化を目指したセミナーです。(1) 部会科学奨励賞および技術奨励賞受賞者をはじめとする注目の若手研究者の最先端の研究発表、(2) コロイド化学の各分野にわたる同世代の研究者、学生と打ち解けた雰囲気ディスカッションできるグループ討論会、(3) 食事をしながらの交流会を行っています。本年度は9月6～8日に神戸大学で開催された「コロイドおよび界面化学討論会」前日に半日間のブレ・セミナーとして、甲南大学平生セミナーハウスで開催しました。

本年度の招待講演では、界面活性剤分子集合体の溶液状態解析とその製品開発への応用（ライオン株式会社 小倉 卓



氏)、界面活性剤を用いた金ナノロッド合成（産業技術総合研究所 武仲能子氏）、微粒子による流体分散系の安定化：エマルション・泡・ドライリキッド（甲南大学 村上 良氏）について、基礎から最新の成果まで、わかりやすくお話しいただきました。研究内容に加えて、ご自身の経歴や、現在の研究に至った経緯などもお話しいただき、将来、大学・企業で研究者を目指す学生の皆さん、若手研究者の皆さんに大変有益な情報を提供していただけたと思います（写真は討論会後に撮影した集合写真です）。

コロイドおよび界面化学部会は、微粒子、組織化膜、界面活性剤、固体表面など多岐にわたる研究対象があり、部会討論会でも各研究分野が平行で発表を行います。参加する学生も、自分の研究分野に近い発表のみを聞くことが多くなってしまうかもしれませんが、このセミナーでは、共通点を多く持ちながらも普段触れることの少ない研究分野の最新の研究成果に触れる機会としてグループディスカッションを企画しています。グループディス

カッションは本会の参加者から事前に発表者を募り、自己紹介も含めて一人25分、3会場に分かれて行います。各会場には、WGメンバーを中心に、コロイド化学の各分野から議論をサポートする研究者を配置します。研究室での報告会とはまた違った視点から専門的な意見や現在取り組んでいる問題の解決策をいただくこともできます。研究の視野を広げる意味でも大変良い機会だと思いますので、これからたくさんの参加をどうぞよろしくお願いいたします。

若手口頭講演賞

討論会にご参加いただいた多くの先生方に審査にご協力いただき、本年度も8件の講演を「若手口頭講演賞」として表彰しました。受賞者の研究概要は部会誌「Colloid & Interface Communication」に平成30年度2号より順次掲載される予定です。

おわりに

若手ワーキンググループでは、若手研究者をエンカレッジし、互いに刺激を与え、連帯感を育み、将来にわたって切磋琢磨していけるような友人と知り合う機会を提供したいと考えています。今後も皆様のご支援をお願いいたします。

〔若手ワーキンググループ
松原弘樹(九州大学)・大久保貴広(岡山大学)〕

© 2018 The Chemical Society of Japan